

# 株の防人



作戦指令 Vol.74

田川孝展の横顔、一九六八年生まれ埼玉出身。防衛大学卒業、航空自衛隊のパイロットで教官としても活躍。三等空佐を最後に退官後はビジネスの世界に転じ、日本企業情報の社長として企業情報ナビをネットで展開。画期的IRシステムである「IRシート」を通じ企業をサポート。株式投資にも造詣が深く、長期的視点での有望株発掘には定評。

## ソルクシーズ 金融向けソフト開発が柱 ストック型ビジネス拡充へ

トであったそうだ。

今回はソルクシーズ（J・4284）の長尾章社長を取材した。長尾社長は、青山学院大学の理工学部で物理学を専攻していた。学生時代は、とにかく負けん気が強く、スポーツでも何でも勝つことにこだわっていたそうだ。

七八年に卒業後、就職先で三か月間のシステムエンジニアとしての基礎研修を受けた。この研修で、引き続き一年間の研修が可能な五名の一人に選ばれた。これが、現在に至るまでの道を歩み出すターニングポイント

## 理想郷求めて

「システムエンジニアの理想郷として、この会社を立ち上げました。従業員が、厳しくともエンジニアたちにとって居心地の良い経営だけは、ぶれない様に心がけています。特に新入社員には、

当初の三か月の研修期間中に、一年間の目標と計画を作るように指導しています。日進月歩の世界ですから、日々の勉強は当然です。それ以外に、会社の一員として視野をどのように広げていくのかを重視しています」  
「現在の環境は厳しいですが、安定した収益となるストック型ビジネスへの先行投資を鋭意行っており。数年先を見据えていて欲しいと思います」  
最後に社長とは？  
「自分がワクワクしないようでしたら、社員に」とっては、それ以上にやりがいを見い出せない会社になってしまおうと思いません。とにかく、自分も含めて社員もワクワクするような環境を整備し、提供し続けるのが社長としての私の使命だと考えています」  
ソルクシーズは、ソフトウエア開発、セキュリティ、会計管理システムの開発を主なサービスとして提供している。なかでも金融機関向けのソフト受託開発を得意としている。二〇〇七年一月に丸紅が資本、及び業務提携として参画している。ストック型ビジネスの拡充には頼もしい存在だ。同社内でも、もっともタフといわれている長尾社長の理想郷としての経営手腕に期待したい。

全社員がワクワクする環境作りが使命と語る長尾章社長（右）

